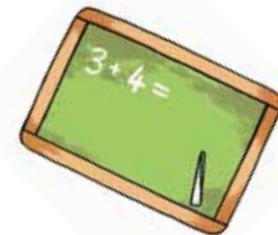




# むかしの道具



## ～使い方とその歴史～



### 春日部市郷土資料館

※この冊子は、身近な道具のうつりかわりについて、イラストでわかりやすく解説したものです。

小学校第三学年社会科の学習・教材などにご活用ください。

#### <洗たく道具のうつりかわり>

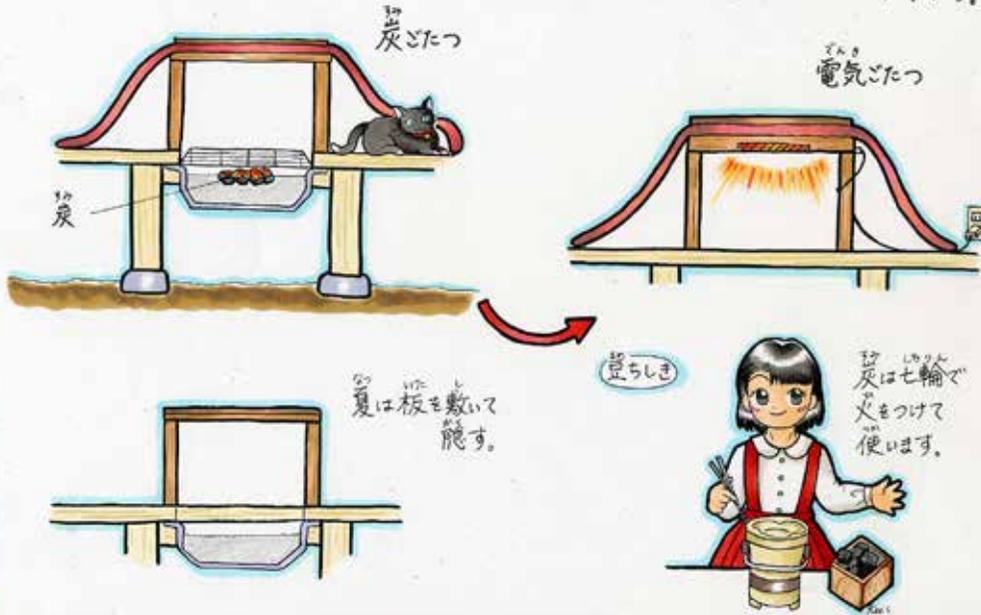


#### <アイロンのうつりかわり>

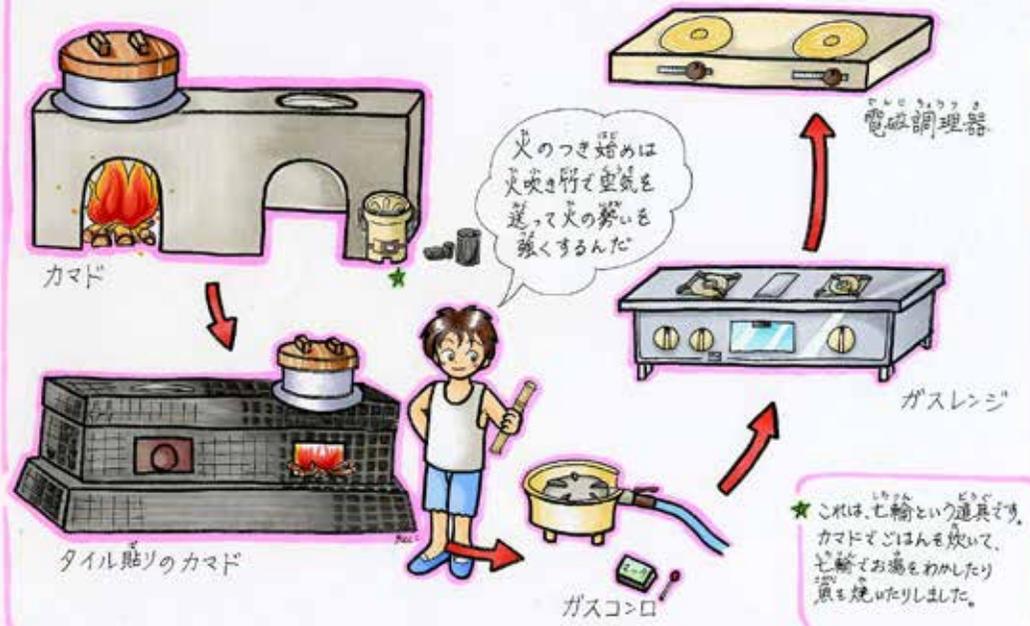


## <こたつのうつりかわり>

こたつは今から500年以上むかし<sup>（ろうりやうじだい）</sup>の室町時代から使われはじめました。二輪に広まったのは江戸時代です。

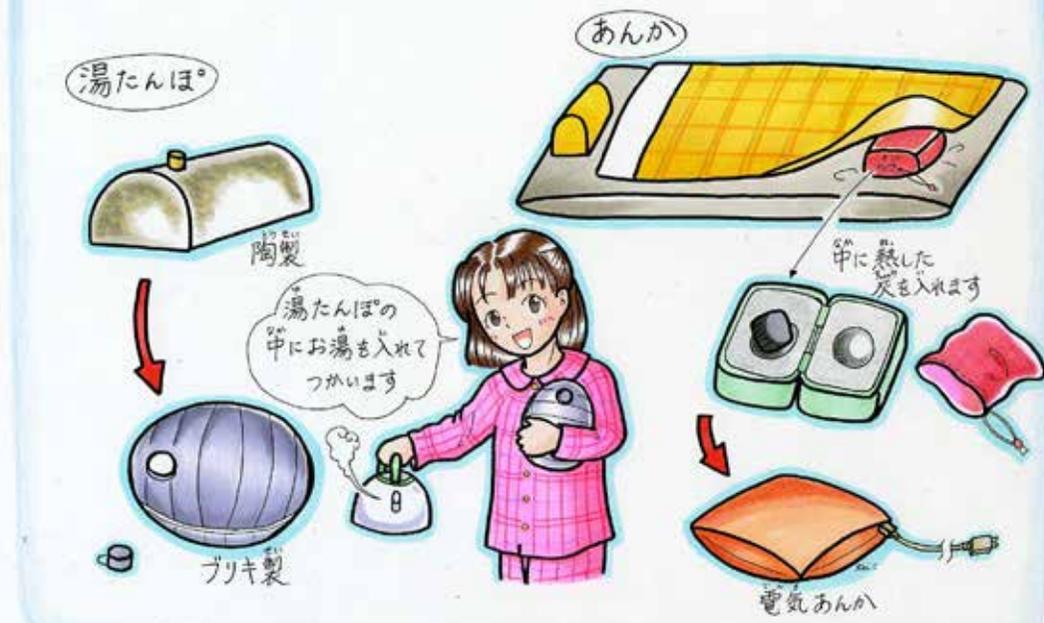


## <カマドのうつりかわり>

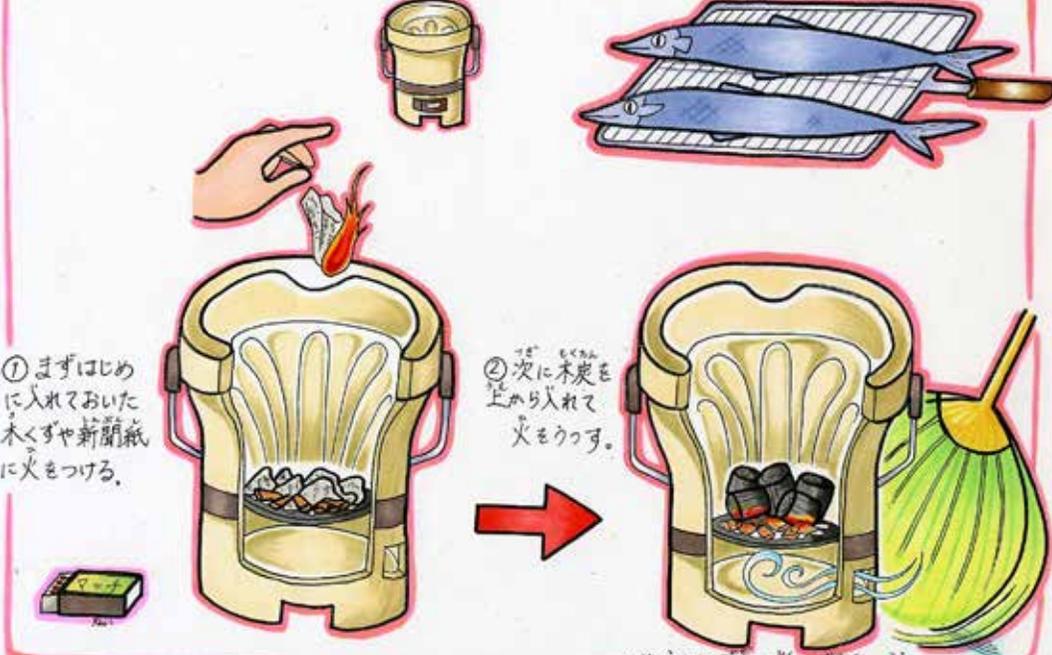


★これは、七輪という道具で、カマドとごはんを炊いて、七輪でお湯をわかしたり、魚を焼いたりしました。

## <寝るときにつかう暖をとるための道具>

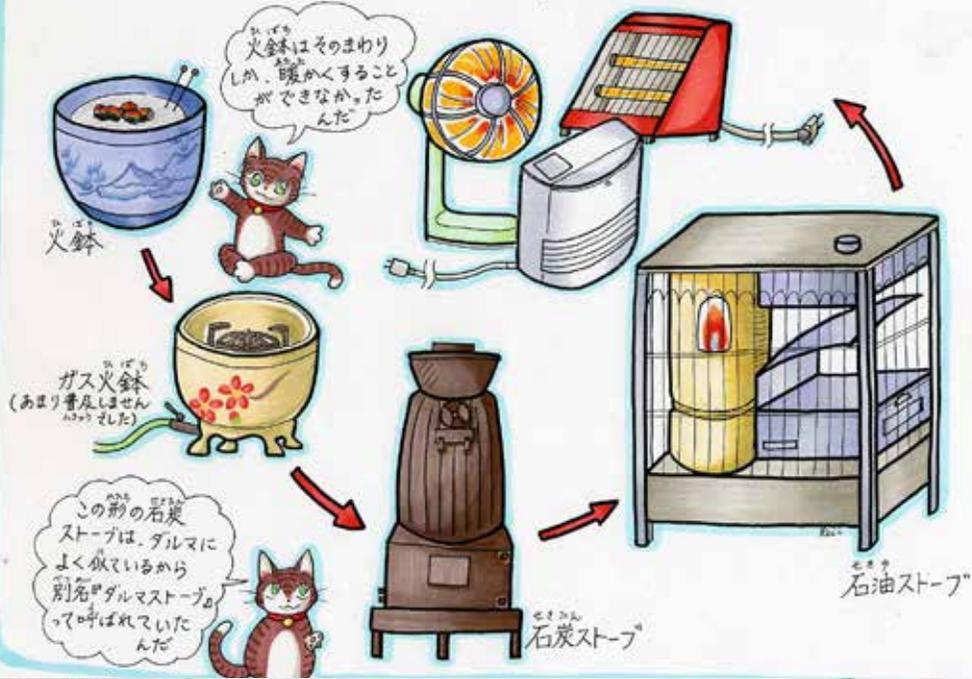


## <七輪の使いかた>

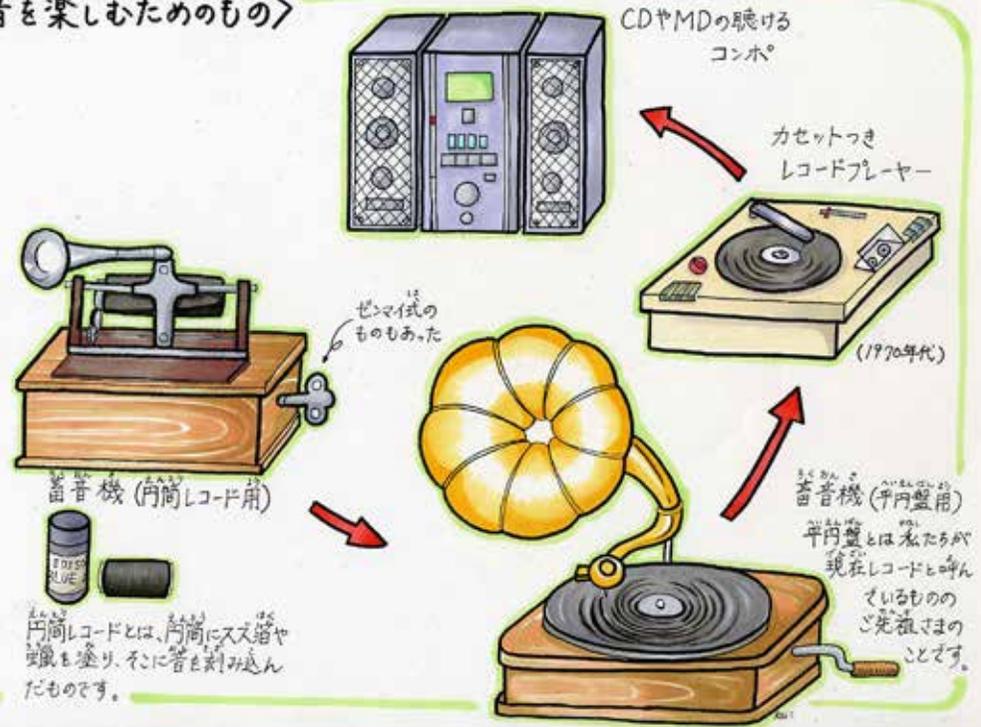


## <ストーブのうつりかわり>

ハロゲンストーブや電気ストーブなど



## <音を楽しむためのもの>



## <火鉢のつかいかた>



## <あかりのうつりかわり>





**選米** (せんまい)  
唐箕 (とうみ) でもみからをとばす



**選米** (せんまい)  
万石通し (まんごくどおし) で  
小さな米をのぞく



**しろかき・田ならし**  
えぶりで、田んぼの土をならす



**田植え** (たうえ)  
苗 (なえ) を植える



**除草** (じょそう)  
田こすりで雑草 (ざっそう) をとる

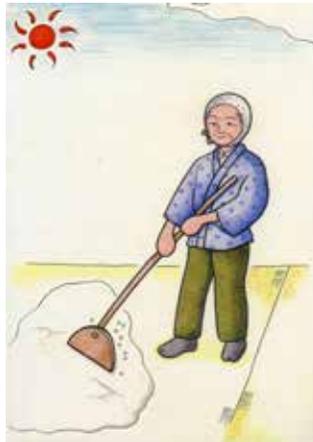
# むかしのお米づくり

トラクターなどの機械が広まる昭和40年頃までの  
農家の人は、お米を手作業でつくっていました。

※太字は農家の人が使った道具の名前です。



**もみとり**  
唐うす (からうす) で  
もみからをとる



**天日干し** (てんぴぼし)  
保存 (ほぞん) できるように、  
もみのまま乾燥 (かんそう) させる



**脱穀** (だっこく)  
せんばこきで稲からもみをとる



**稲干し** (いねほし)  
たばねた稲を稲架 (はさ・のろし) 干す



**稲刈り** (いねかり)  
田下駄 (たげた) と田舟 (たぶね) を  
つかって、鎌 (かま) で稲を刈る

《実物の写真》



おひつ



台ばかり



火のし



有明行灯（ありあけあんどん）



手回し式洗濯機（せんたくき）



箱火鉢（はこひばち）



石うす



木製の冷蔵庫（れいぞうこ）



炭火アイロン



かまど



唐箕（とうみ）



石板（せきばん）



蓄音機（ちくおんき）・レコード



白黒テレビ



ダイヤル式の電話